GRIPS情報化推進室 リクルーティングペーパー

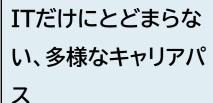
※説明会を2025年6月23日(月)12時00分~13時00分 実施予定

情報化推進室ではネットワークやセキュリティを守るIT人材を募集しています

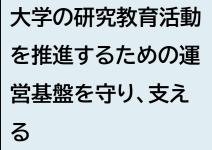
大学で働く魅力

安定した環境で、IT・ セキュリティの知識 を活かせます 国立大学という落ち着いた職場環境で、日々の激しい変化や過度な競争に追 われることなく、自分のペースで成長できます。

「セキュリティに興味はあるけど、ガツガツしすぎたした現場はちょっと…」という方にもぴったりのポジションですし、先輩職員が親身にサポートします。



本学では、ITやセキュリティ業務にとどまらず、希望や適性に応じて他部門での活躍も視野に入れています。DX推進や学内の各種業務への関わりなど、ITスキルを活かしながら新たな挑戦も可能です。



セキュリティは大学のすべての部門に関わるため、組織全体の仕組みや流れが 把握しやすいポジションです。**ITだけでなく、運営全体の視点を持つことがで きるため、広い視野を身につけることができます**。

GRIPSは最先端の研究や教育の場であり、様々な活動が行われています。その運営基盤のセキュリティを守り、安心して利用できることで大学の発展に貢献できます。





主な業務内容

本学の情報セキュリティ担当として、主に以下の業務を行います。 日々の業務は落ち着いた環境で進められ、特別なトラブルがなければ定時での勤務が可能です。

情報収集•脆弱性確認	メールやニュースサイトなどを通じて、最新の脆弱性情報を収集し、必要に応じて学内環境への影響を確認します。
端末・ネットワーク監視	職員が使用する端末やネットワーク機器において、不審な挙動がないかを定期的に確認し、必要に応じて初動対応を行います。
脆弱性診断の実施・支援	システムやサーバに対する脆弱性診断をツールを使用して実施し、影響度を判定します。学内の運用担当者と連携しながら、対策の検討・実施を進めます。
関係部門との調整・打ち合わせ	定期的にITサポート部門と状況を共有し、必要に応じて今後の対応方針やメンテナンス計画を検討します。
資料作成・運用フローの整備	対応履歴や打ち合わせ資料の整理、セキュリティ対応手順の文書化・更新などを行います。
外部からの通報対応・ログ調査	外部からの通報や情報提供に対して、ログ調査などの初期対応を行います。重大なインシデントでなければ、対応は軽微です。
その他のポイント	・業務の大半は定型化されており、急なトラブル対応はまれです ・セキュリティ領域に関心があり、落ち着いた環境でじっくり業務に取り組みたい方に適しています ・セキュリティを学びたい方にとって、実際の現場を経験しながら学べる貴重な機会です

必要な素養

- サイバーセキュリティやITの領域にアレルギーがないこと
- 基本的なITスキル(ITパスポート程度)を持っていることが望ましい
- ⇒大学側が<mark>専門的な知識を体系的に身につけるための教育を準備し、支援します</mark>ので、現時点のスキルは問いません

入職後の教育プランについて

ステップバイステップのOJTで、現職のIT担当者が伴走しながら サイバーセキュリティ対応の基本と業務に必要な技術をお伝えします。

> ステップ1 (1ヶ月)

ステップ2 (1~3ヶ月) ステップ3 (3~6ヶ月) ステップ**4** (6ヶ月~1年)

まずは現場に慣れる

- 手を動かして、セキュリ ティ業務の全体像をつかみ ます
- 担当者が横について教えますので、わからないことなどがあればすぐ聞くことができます

ログ分析と 簡単な異常検知

日常的なセキュリティ監視 を担当者と一緒に実践し、 異常を見つけるスキルを 身につけます

インシデント対応の 初動を知る

- 過去のインシデントなどを参考に、実際に対応してみることで実践的な知識を身につけます
- 実際にセキュリティインシデントが起きたときにも対応できるようになります

セキュリティ運用を 主体的に担当

室内で相談しながら対応し、 徐々に自立して学内のセ キュリティを守る立場になれるように支援します

● 利用できる教材・研修

- 情報処理技術者試験の 書籍(ITパスポート)
- 合同研修への参加

● 利用できる教材・研修

• 動画研修など

● 利用できる教材・研修

外部研修(Hardening 競技会)などへの参加

● 利用できる教材・研修

情報処理技術者試験の 書籍(情報セキュリティマ ネジメント試験)

参考:IT業界・セキュリティ業界の動向について

IT人材の供給動向の予測





経済産業省が公表した「IT人 材需給に関する調査※1」に よると、2030年には最大 約79万人のIT人材が不足 する見込みです。

レバテック株式会社の「IT人材の正社員転職/フリーランス市場動向 12月※2」によると、2024年12月時点でのIT人材の転職求人倍率は11.6倍でした。

一方で、厚生労働省が発表した「一般職業紹介状況」※3 では、2025年1月の正社員 有効求人倍率は1.26倍と なっており、IT人材の需要は 依然として高い水準で推移 していると言えます

IT 業界の転職求人倍率【2024年12月版】

順位	5	スキル・職種	求人倍率
1位	1	2キュリティ	54.0倍
2 位		コンサル	41.8倍
3 位		PM	24.6倍
4 位		クラウド	22.8倍
5 位		Go	19.8倍



※求人数 100 以上の主なスキル・職種より集計

需要の高いIT業界の中でも特にセキュリティ分野は50倍 以上の転職求人倍率を誇っています。スキルを身につける ことは、自分の市場価値が高めることにつながると言えそ うです。

一日のスケジュール

GRIPSではフレックスタイム制度を導入していますので、出勤、退勤時間は職員の裁量※に委ねられています。 一方、情報セキュリティインシデント(疑い含む)発生時は緊急対応(レアケース)が求められます。





緊急対応時(レアケース)				
10:00	〇出勤前に用事を済ませて出勤。 メール、Teamsチェック			
11:00	SOCからの通報により 不審な通信を確認			
12:00	被疑端末を確保、マルウェア感染 を確認			
13:00	CSIRT責任者、CISOへの報告、 FireWallのログ確認			
14:00	交代で昼食			
15:00	学内端末のウィルススキャン実施、 スキャン結果の確認			
21:00	所管省庁への報告書まとめ			
23:00	所管省庁へ報告書提出後、帰宅			

募集要項

- 採用時期
 2025年8月1日以降(予定)で応相談
- 2. 募集人数 若干名
- 3. 勤務条件
 - ・常勤職員(任期なし) ※試用期間6か月あり。その他の条件は本学就業規則による
- 4. 業務内容
 - ①技術系業務
 - ・M365を利用した運用保守業務
 - ・学内クライアント設定業務(EDR、資産管理ソフト、証明書設定)業務
 - ・情報セキュリティに関する研修・訓練の実施業務
 - ・情報システム、ネットワーク機器、サーバ機器運用保守に関する業務
 - ・その他、情報処理に関する業務全般
 - ②事務系業務
 - ・会議資料等のドキュメント作成や日程調整
 - ・会議(オンライン、実地)運営業務(資料作成、資料印刷、設営、議事録作成等)
 - ・謝金の支払い手続き
 - ・ユーザアカウント等の管理業務
 - ・学内通知文書の作成

募集要項(続き)

- 5. 採用(選考)方法
 - 書類選考及び面接(2次最終予定)
 - ※書類選考のうえ、合格された方には別途日程調整のご連絡を差し上げます。
- 6. 応募方法
 - (1)提出書類
 - 以下の書類一式を提出先までメールでご提出ください。
 - ①履歴書(写真貼付・様式自由)
 - ・日程調整や選考結果の連絡に使用するため、履歴書の連絡方法欄には、 e-mailアドレスを明記してください。
 - ・履歴書の学歴は高等学校卒業以上を記入してください。
 - ②職歴のある方: 職務経歴書(様式自由)
 - (2)提出書類受付期間:6月5日(木)~7月31日(木)
 - ※応募の状況により早期に締め切る場合があります。
 - ※提出書類については返却しませんので、予めご了承ください。
- 7. 提出先・問合せ先

〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1 政策研究大学院大学企画課情報化推進室 TEL:03-6439-6100

e-mail:recruit ita@grips.ac.jp

※提出書類から取得された個人情報については、今回の選考及び採用 以外の目的に使用いたしません。当該選考及び採用終了後、本学にて責 任を持って廃棄いたします。